



如意ヶ丘

第24号

《発行》平成31年1月31日



創立90周年記念事業モニュメント



万葉朗唱会 (H30.10)



韓国語学研修 (H30.12)



支援推進歓迎会 (H30.7)

ごあいさつ



会長

山崎 泰邦

厳冬の候、会員の皆様にはご健勝で新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素より、如意ヶ丘同窓会に多大なるご支援を賜り厚く感謝申し上げます。

昨年7月に開催されました平成30年度如意ヶ丘同窓会総会において新たに会長に選出され就任しました新会長の山崎泰邦です。私は伏木高校第23回卒業の満66歳であります。在学中はサッカー部に3年間籍を置き、「青雲布ける立山に…」で始まる校歌と「色は黒いが心は錦…」で始まるサッカー部の唄を口ずさみ日々を送ったものでした。大学卒業後は高岡市内の企業に勤務し、平成21年から社会福祉法人伏木会にお世話になり、一昨年6月に理事長に就任し現在に至っています。私と如意ヶ丘同窓会の関係は、3年前に前会長の牧さんから如意ヶ丘同窓会が90周年の節目を迎えるので、少し手伝って欲しいと要請があり、引き受けたのが始まり

でした。

折しも、高等学校再編の嵐が吹き荒れ、常に統廃合候補校にわが母校が名を連ね、いつ何時という雰囲気がある中、90周年事業が終了した昨年12月に再編候補校から除外され安堵したところですが、しかし人口減少とりわけ少子高齢の波は収まらず、今後もその傾向が続くとすれば、やがてまた再編の嵐が吹き荒れても何の不思議もありません。如意ヶ丘同窓会は伏木高校支援推進委員会と相まって母校の存続に最大の努力を傾注しその任に当たる所存です。より一層のご協力をお願い申し上げます。

私が会長に就任するに当たっては、私よりも相応しい方も大勢おられる中、何かあればいくらかでも協力するとの声を信じて会長を引き受けました。卒業生16,000名を超える会員がいる、伝統と歴史のある如意ヶ丘同窓会の更なる発展と母校の繁栄、そして如意ヶ丘同窓会100周年に向け、同窓会組織の若返りと組織の充実を図りました。微力ながら全力を傾注する所存であります。

向寒の候、会員の皆様には御身ご自愛のほどご祈念申し上げます。ご挨拶と致します。

100周年を目指して



校長

山端 将介

如意ヶ丘同窓会報第24号の発行を心よりお喜び申し上げます。同窓会員の皆様方には、日頃から本校の教育活動に深いご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

また一昨年の伏木高校創立90周年記念事業として国際教育基金の充実が図られたおかげで、本校の国際交流が創立100周年に向け、今後とも安定的に継続して行われる基盤を築くことができましたことは、教職員一同、喜びに堪えません。

本校の今年度の国際交流活動の受け入れ事業としては、7月下旬に中国・大連市第十二中学と韓国・水原市清明高校に加え、4年ぶりに米国・フォートウェイン市ビショップルアーズ高校から合わせて84名の生徒の皆さんを迎えることができました。

恒例となっている地域挙げての歓迎パーティーでは、支援推進委員会とともに如意ヶ丘同窓会の多大なる支援を得て、伏木コミュニティセンターにて開催していただきました。伏木錬成館バトントワラズズの演技、全員参加のゲームなどにより、楽しいひと時を過ごすことができました。これとは別にPTA主催のバーベキュー歓迎会も催され、保護者の皆様方にはホームステイの受け入れにも多大なご協力をいただきました。このように地域や同窓会、PTAなどの関係各位の支援により、本校の国際交流活動が支えられていることを実感するとともに、ここに改めて感謝申

上げます。

さらに、9月末にはロシア・ウラジオストク市訪問団として20名の生徒を受け入れ、本校の文化祭で交流を深めることができました。

一方、派遣事業としては、12月に、中国、韓国への語学研修を行いました。3月には、ロシア・ウラジオストク市友好校に加え、2年ぶりに米国・フォートウェイン市ビショップルアーズ高校での語学研修を予定しております。

なお、11月には、高岡ロータリークラブの支援を得て活動している本校のインターアクトクラブ（IAC）設立10周年記念フォーラムが本校で開催され、本校生徒や外国人留学生が海外での体験談を発表しました。当日来校された高岡ロータリークラブの会員の中には本校同窓生の方も数名おられ、高校時代の思い出話をされておられました。

本校では、これからも「伏木高校 目指すは国際人へのパスポート」のスローガンのもと、生徒、教職員が一丸となって友好校との交流をはじめ幅広い交流活動の実践を通して、国際理解教育の推進に努めてまいりますので、同窓会員の皆様方には、今後ともご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



如意ヶ丘同窓会・支援推進委員会主催歓迎会 (H30.7.24)

総会報告

伏木高校如意ヶ丘同窓会

平成30年度の如意ヶ丘同窓会定期総会は、7月16日（月・祝）16:00より「伏木コミュニティセンター」において、約70名の出席により開催されました。

総会では、戸澤副会長の司会進行により、最初に全員で同窓会物故者に対して黙祷を捧げたのち、牧同窓会長、山端校長の挨拶がありました。議事は議長に選出された牧会長によって進められ、平成29年度事業報告、会計報告等の後、昨年実施されました「創立90周年記念事業会計」の報告が行われ、承認を受けました。

その後、同窓会役員の変更が諮られ、長らく会長を務められてこられました牧亨氏に代わり、新たに山崎泰邦氏の会長就任が満場一致で承認されました。

役員改選の議事後、平成30年度の事業計画（案）、会計予算（案）等が審議され、全て承認がされました。

続いて、在校生による海外研修等のプレゼンテーション、そしてアトラクションとして本校の吹奏楽部による演奏を披露していただきましたが、出席者は皆、微笑ましく拝聴していました。

結びに、出席者全員で声高らかに校歌を斉唱し、母校と同窓会の益々の発展及びお互いの健康と再会を期して、総会は盛会裏に閉会しました。

最後になりますが、牧前会長におかれましては、長きにわたり、同窓会活動にご尽力を賜り、厚く御礼申し上げますとともに、今後当会へのご指導等を賜りたいと存じます。また、山崎新会長のもと役員一同は、意を新たにして同窓会の発展に努めてまいりますので、同窓会員の皆様には、今後ともご理解とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

副会長 炭谷 強 (伏高30回)



平成三十年度 如意ヶ丘同窓会顧問・役員

役 職	卒業回数	氏 名
顧問	商業 14 回	山崎 孝之
〃	商業 16 回	大黒 幸雄
〃	北高 3 回	山下 和夫
〃	北高 3 回	吉原 節夫
〃	伏高 16 回	牧 亨
〃	伏高 18 回	山口 正志
〃	伏高 38 回	石須 大雄
〃 (関東同窓会長)	北高 6 回	酒井 敬司
〃 (関西支部長)	伏高 12 回	杉林 清
〃 (学校長)	伏高 23 回	山端 将介
会長	伏高 22 回	山崎 泰邦
副会長	伏高 26 回	増井 修
〃	伏高 28 回	小泉 哲二
〃	伏高 28 回	上田 耕一
〃	伏高 28 回	谷内 浩仁
〃	伏高 30 回	炭谷 強
〃	伏高 31 回	松嶋 浩二
〃	伏高 37 回	条谷 正利
〃	伏高 39 回	戸澤 秀行
〃	伏高 39 回	金田 健一
〃	伏高 40 回	宮越 一郎
〃	伏高 40 回	山本 政則
〃	伏高 42 回	山 鉄也
〃	伏高 43 回	山本 健一
〃	伏高 43 回	城光 茂
〃	伏高 44 回	杉本 和文
〃	伏高 44 回	増岡 寛之
〃	伏高 44 回	山岡 弘之
〃	伏高 50 回	加治 幸大
〃	伏高 50 回	川端 秀理
〃	伏高 51 回	奥原 一郎
〃	伏高 22 回	向井 辰郎
〃	伏高 26 回	澤武 博

関西支部 便り

関西支部副支部長 川田 豪之 (北高 7 回卒)

第 22 回如意ヶ丘同窓会関西支部 総会・懇親会

平成 29 年度総会・懇親会を平成 30 年 9 月 23 日「道頓堀ホテル」に於いて、母校より山端校長、同窓会本部より山崎会長を来賓としてお迎えし、総勢 23 名出席で、第 22 回如意ヶ丘同窓会関西支部総会が開催された。

冒頭、校友物故者への黙祷を捧げた。杉林支部長が「本日で出席のお礼と 6 月の大阪北部地震に続き、近畿上陸の大型台風による被害見舞を申し上げた上、新規会員募集のお礼、及び今後も活動テーマとして続けましょう。」と開会挨拶がありました。

続いて、山端校長よりは「昨年に続き二度目ですが、来年退任の予定です。」とご報告があり、より良き生徒指導に感謝です。

続いて、山崎会長よりは、「次の節目である 100 周年に向かって『創立 100 周年記念事業』の準備委員会を立ち上げました。」とのことでした。強い目標が出来たわけです。

議事に入り、杉林支部長を議長に指名し、川田副支部長司会のもと、平成 29 年度事業報告を杉林支部長、収支報告を奥会計より説明あり、山本会計監査報告あり、拍手で承認された。

続いて、平成 30 年度事業計画(案)など収予算案を承認されました。審議事案として、次回総会日時について、〇〇元年 9 月 29 日と決定して頂きました。全員の出席を要望します。

山崎会長より、活動助成金が杉林支部長に授与され、全員拍手で謝意を表しました。記念撮影の後、総会は終了した。



懇親会は、初参加の紹介から始まり、24 回(普)卒の田島優氏です。堺市にお住まいで、今後は支部一員として楽しくやって戴きたいと大歓迎です。(本山幹事主導)山崎会長による乾杯のご発声で開宴となり、余興が始まった。今回は、人気のある「とよま名産品争奪ジャンケン大会」へ突入、(西川幹事)の采配もお見事、勝って頂く、負けると再挑戦。全員頂いた後、校長・会長からの手みやげも、許しを戴いて、全員で争奪戦により頂きました。その中、カラオケも(西井幹事長お手のもの)進行し、おわら風の盆踊り(横森幹事)2輪で終了。

めめは、伏木商業・伏木高校の校歌を応援を得て無事斉唱、山端校長のバンザイ三唱、川田副支部長の閉会挨拶、麦谷一男氏による一本締めで閉会となった。

母校の発展と如意ヶ丘同窓会、全員の健康を願って、〇〇元年 9 月 29 日に再会…再会。

関東如意ヶ丘同窓会 便り

事務局長 山 岸 清 (伏高 17 回卒)

第 22 回関東如意ヶ丘同窓会総会

平成 30 年 9 月 21 日、秋雨前線の影響での長雨の中、第 22 回・関東如意ヶ丘同窓会総会が総勢 30 名の出席のもと、千代田区九段・アルカディア市ヶ谷にて開催。母校より南副校長・同窓会本部より山崎新会長に新幹線にて上京出席を戴きました。総会は定刻、金山副会長の司会進行のもと行われ冒頭、酒井会長の挨拶に先立ち、会員物故者への黙祷を捧げた。

挨拶は酒井会長よりご多用の中、来賓の皆様ご出席への御礼と共に一人お一人丁寧なる紹介があり、続いて現経済情勢での「国内株価」と政治問題の「自民党総裁選」等の観点から我が日本への憂慮する影響を想定した、将来日本への強い思い入れの言葉であった。

議事に入り、事務局長山岸より 29 年度活動報告及び 30 年度活動計画の説明があり、続いて北山会計長より 29 年度会計報告、岸監査から監査報告の後、満場一致の拍手で承認され、作道常任幹事の終了宣言で議事は全て終了した。

山崎会長からは新就任挨拶と同窓会の近況と高校統合対象除外による新たな活動計画。南副校長からは国内二校しかない稀有な「国際交流科」生徒全員短期留学の現況報告、生徒活動を記した新聞切抜スクラップを戴き、教育・文化・スポーツ等の現況報告があった。

来賓挨拶では、稲場伸也東京富山県人会連合会副会長は大坂なおみさんルーツは黒部、河村幹治富山県首都圏本部本部長は伏木高校国際交流科教育と立地ロケーションの素晴らしさ、石岡弘子富山県人婦人会会長は老伴家持在任中の役所は伏木であった歴史を語って戴きました。

二部懇親会は山岸事務局長の司会進行でまずは吉田常任幹事の朗々と詠いあげた「海南交」に聴き入り、東豊昭富山県人会連合会常務理事事務局長挨拶と乾杯音頭で声高らかに乾杯、歓談に入った。



歓談進む中、高岡市ふるさと応援大使(高岡と全国を結ぶ架け橋)のシンガーソングライター「島香織さん」指揮のもと出席者全員が腕を揚げ、横に降りながら素晴らしい歌声に聴き入った、9/26 クラウンレコードよりメジャーデビュー決定との説明を受けて、大きな激励の拍手があった。

カラオケは稲場副会長・河村本部長・酒井会長・山崎会長・南副校長・会員 6 名が日頃の成果を競い合った。

新幹線発車時刻迫る中、母校益々の発展を祈念し鶴谷副会長音頭で万歳三唱を南副校長へ、答礼は当会の発展と会員各位の健勝を祈念し返礼の万歳三唱があり、エール交換。

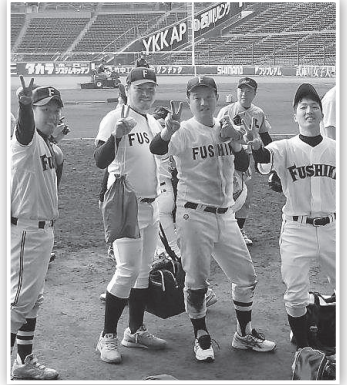
東事務局長の素晴らしい「こきりこ」に耳を傾けながら出席戴いた婦人会幹事皆様のおどり、そして越中おわら節での流し踊りで盛り上がった。

最後は全員で「青雲布ける立山…」と校歌斉唱後、林副会長から来年も再来年も元気でお会いしようとの締めの挨拶で散会となった。

特集『憧れの甲子園で』

伏木高校野球部OB会会長 伊沢 忠 (伏高34回)

高校球児だった昔を思い出し憧れの阪神甲子園球場にて母校のユニフォームを着て試合をする。数年前からマスターズ甲子園富山予選会に出場し、年に一度母校にて練習、OB戦を行い大会に臨んで来ました。今回マスターズ甲子園の幹部会において今回はオール富山選抜チームでの出場の提案があり各高校から推薦によるチームで出場することとなりました。各年代から4選手が出場していただきました。至福時で有ったろうと思います。一足先に甲子園でプレーすることとなりましたが母校の野球部も必ずや出場を果たしてくれると信じています。



甲子園球場で元高校球児が熱戦を繰り広げる「第15回マスターズ甲子園」は2018年11月10・11日開催され、富山県選抜チームとして同校OBからは西村勇作外野手(24歳)、糸谷秀樹捕手(25歳)、本野貴之投手(38歳)、川端秀和内野手(39歳)の4選手が出場しました。県選抜チームは6-8で藤嶺藤沢OB(神奈川県代表)に惨敗しました。

試合は1時間半以内で3回までを34歳以下、4~9回を35歳以上のチームでボールは硬球使用で実施されました。

以下出場選手の感想。

西村勇作 (3回センターで出場)

甲子園を訪れたのは2回目でしたね。小学生のころ一度だけ見に行っただけだったので、10年以上行っていかなかったです。高校時代にチャンスはあったのですが、結局出場は叶わず。高校を卒業して5年以上経ち、まさか甲子園に行く機会を与えてもらえるなんて思ってもなかったです。球場の雰囲気、グランドコンディション全てにおいて最高の舞台。高校時代には味わえなかった嬉しさ、悔しさを味わうことができました。

今回このような機会を与えてくださった、伏木高校OB会の方々に感謝します。



糸谷秀樹 (2回捕手で出場)

私は捕手として2アウト取らせていただきました。夢の舞台でのあのアウト2つはアウトの重みが違いました。現役時代は「1アウト! 2アウト!」と何気無く掛け声をかけていましたが、あの舞台では現役最後の夏の大会と同じ様なアウト1つに対する「ありがたみ」を感じました。高校球児の皆さん、試合や練習でアウト1つ取れたと言う「ありがたみ」。今自分が野球を出来る「ありがたみ」。皆さんを応援して頂く方への「ありがたみ」。たくさんの「ありがたみ」を感じてプレーして下さい。皆さんのあの舞台まで這い上がる姿を応援します。

本野貴之 (1~2回先発投手にて出場)

自分の夢であり目標であった甲子園という舞台。先発投手としてマウンドに上がらせてもらいプレーできた事が本当に嬉しくて、楽しくて、最高の経験でした。今回は選抜チームという形での出場でしたが、今回は今携わって頂いている方々と協力しながら単独出場できるように色々頑張っていていきたいと思います。今回マスターズ甲子園という舞台に伏木高校代表として参加させていただき本当にありがとうございました。



川端秀和 (4~5回三塁手で出場)

応援団、プラスバンド、アナウンスすべてが揃った素晴らしい大会に伏木高校OB代表として出場させて頂いたことには感謝を述べさせていただきます。

私は2点ビハインドで迎えた3回の打席からの出場、逆転ホームランを打ち、甲子園でけんか山打線(?)を爆発させてきました。大舞台で結果を残すことができ最高でした。

現役の選手達には次の夏の大会でのけんか山打線爆発に胸を膨らましております。今度は私達OBを甲子園に連れて行ってください。

三北 回 卒 高代 山産商會 山下和夫	三北 回 卒 高代 富山大学名誉教授 吉原節夫	八北 回 卒 高代 松長一雄	九北 回 卒 高代 布野彰一	十伏 回 卒 高代 作道弘	十伏 回 卒 高代 上野宏芳	十五伏 回 卒 高代 中山勝儀	十六伏 回 卒 高代 牧亨	十八伏 回 卒 高代 山口正志	二十伏 回 卒 高代 増井修	二十伏 回 卒 高代 山崎泰邦	二十六伏 回 卒 高代 小泉哲二
------------------------------	----------------------------------	----------------------	----------------------	---------------------	----------------------	-----------------------	---------------------	-----------------------	----------------------	-----------------------	------------------------

今回のクラス会の幹事となって準備をして頂きました野球部、体操部、帰宅部から代表して上耕陽君より開催の挨拶後、豆佐正和君の乾杯の挨拶を行って宴を開きました。

如意ヶ丘の学び舎を卒業して45年ぶりに会う旧友に、その変わった容姿に昔を思い出しながら、最初はぎこちない会話が30分もしないうちにあっと言う間にタイムスリップして、その空白を埋め、笑い声の絶えない当時のクラスに戻ったような1日でした。

そして半世紀近く以上経って、今住んでいる所のこと、勤めのこと、子供のこと、孫が出来た人、最愛の人に先立たれた人、ご両親の介護のこと、連れ合いや自分の健康のこと等等盛り沢山有り、話が尽きないのと、幹事の中川(七島)珠美さん提供の「奈か川寿司」よりの旬の新鮮な魚づくしも相まって、大変な盛り上がりとなりました。

食事が終わる頃に幹事が考えたビンゴゲームやじゃんけん大会、罰ゲームでワサビたっぷりの握り鮎で、「本当に辛いのは誰だ」を子どもにも心にかえて行い、涙が出るほど盛り上がりました。

そしてお決まりで校歌斉唱をしました。なつかしい!! 次回の幹事を皆で話したところ、今度は吹奏楽部が担当することになりました。4年後の67～8歳の年に開催す



ることも決まりました。次回も更に参加者が増え、盛り上がることを期待したいと思います。

そして最後に幹事の守井義一君の発声で、万歳三唱で宴を締めました。

- 過去に開催した年月日、場所
- H17. 8.14 お食事処 萬葉 36名参加
- H22. 8.28 ひみのはな 19名
- H26.10.12 射水神社 34名
- H30.11. 4 なか川寿司 19名

ゴルフ大会報告

第33回 如意ヶ丘グリーン会

開催日	優勝	川端	武幸 (伏高12回)
平成30年4月14日(出)	次勝	柳澤	文昌 (伏高25回)
開催場所	3位	伊藤	謙一 (伏高6回)
氷見カントリークラブ	4位	澤武	博 (伏高26回)
	5位	小泉	哲二 (伏高26回)
参加者	6位	牧海	邦亨 (伏高16回)
47名	7位	老中	邦清 (北高23回)
	8位	田中	清 (北高9回)
	9位	笹木	務 (伏高26回)
	10位	井波	利 (伏高12回)
	11位	中山	勝儀 (伏高15回)
	12位	広野	辰之 (伏高23回)
	13位	向坂	慶荘 (伏高23回)
	14位	矢井	誠 (伏高15回)
	15位	増井	修 (伏高22回)
	B G	田中	清 (北高9回)



平成30年度 国際交流事業実績

1 海外語学研修等派遣

派遣事業名	派遣国	派遣人数		期間等
		生徒	引率	
①日露青年交流事業短期派遣事業	ロシア	1	なし	4/2～4/9
②日韓高校生交流	韓国	1	なし	9/6～9/11
③語学研修(友好校:大連市第十二中学)	中国	40	3	12/15～12/19
④語学研修(友好校:清明高等学校)	韓国	38	3	12/19～12/23
⑤語学研修(友好校:Bishop Luers H.S)	米国	25	2	3/15～3/25
⑥語学研修(友好校:第2ギムナジウム学校)	ロシア	23	3	3/15～3/22
⑦富山県高等学校生徒海外派遣台湾・ベトナム	台湾 ベトナム	1	なし	3/3～3/14
⑧インターアクト海外研修「台湾5日間」	台湾	2	なし	3/22～3/26

2 友好校生徒等受入れ

受け入れ事業名	受入国	受入人数		期間等
		生徒	引率	
①米国フォートウエイン市 Bishop Luers 高校との交流	米国	18	3	7/23～7/27
②中国・大連市第十二中学との交流	中国	25	3	7/21～7/25
③韓国・清明高等学校との交流	韓国	41	3	7/21～7/25
④ロシア・第2ギムナジウム学校との交流	ロシア	20	3	9/27～10/4
⑤JENESYS2.0 中国高校生招聘事業	中国	30	4	11/9

※①～④の受け入れでは、海外生徒は全日程、本校生徒の家庭でホームステイをする。
ホームステイ受け入れ家庭数…〔①:20戸、②:15戸、③:39戸、④:20戸〕

※上記以外に、第2外国語学習、国際理解等の有効な機会と判断できる場合は、随時、交流を実施する。

第30回 富山県高校OB対抗ゴルフ大会

期日	〈出場者〉
平成30年6月3日(日)	増井 修 (伏高22回)
場所	酒井 勝 (伏高30回)
高岡カントリー倶楽部	矢坂 誠 (伏高15回)
	安藤 昌広 (伏高30回)
母校の名誉をかけ、熱戦	澤武 博 (伏高26回)
が繰り広げられ、健闘の	柳澤 良成 (伏高32回)
末、第12位に入りました。	昌文 (伏高25回)
	向坂 慶荘 (伏高23回)

伏高二十六回卒 常勤理事 澤武 博	伏高二十七回卒 院長 井上 人士也	伏高二十七回卒 セブンイレブン高岡城東店 松長 聡	伏高二十七回卒 代表取締役 島田 博司	伏高三十二回卒 代表取締役専務 松嶋 浩二	伏高三十四回卒 代表取締役 数田 昭久	伏高三十七回卒 代表 条谷 正利	伏高三十九回卒 代表取締役 戸澤 秀行	伏高三十九回卒 代表取締役 前田 伊和男	伏高四十回卒 代表取締役社長 宮越 一郎	伏高四十二回卒 代表取締役 山 鉄也	伏高四十四回卒 代表取締役社長 山岡 弘之
--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	----------------------------------	------------------------------------	----------------------------------	-------------------------------	----------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------	---------------------------------	------------------------------------

～平成 29 年度 進路状況～

進路指導部長 浜木 健繁

国際交流科の第 10 期生の進路状況は右記のようになりました。

国公立大学合格者は、1 期生 9 名、2 期生 4 名、3 期生 4 名、4 期生 11 名、5 期生 5 名、6 期生 4 名、7 期生 4 名、8 期生 6 名、9 期生 8 名、10 期生 10 名です。進学に関しては、推薦入試、AO 入試、自己推薦入試、センター試験利用入試等様々な形があります。それぞれに対応したきめ細かい指導の結果、各自の希望をかなえられるようにしています。

進路先については、大学短大進学者 50 名のうち県内進学者が 17 名 (34%)、石川県 17 名 (34%)、関東方面 5 名、中部方面 5 名、近畿方面 3 名となっています。また、専門学校進学者 34 名のうち 23 名が県内 (68%) となっています。

就職に関しては、少子高齢化で人手不足のためか、就職の求人が年々増えており、就職する生徒も多くなっています。

生徒の個々の能力に合わせ、最善の進路を選択できるよう教職員一丸となって努力しています。

同窓会の皆様には、本校生徒の進路実現のため一層のお力添えをよろしくお願いいたします。

平成 29 年度 大学等進路状況 (延べ数)

進路先	合格者数	学校名・企業名等
国公立大学	10	金沢、富山、福井、富山県立、新潟県立、職業能力開発総合大学校、静岡文化芸術
私立大学	27	富山国際、北陸、金沢学院、金沢星稜、金沢工業、金城、新潟医療福祉、大正、武蔵野美術、人間総合科学、東海学院、岐阜女子、愛知学院、名古屋学院、立命館、大谷、大阪経済法科、関東学院
短期大学	13	富山短期、富山福祉短期、金沢学院大学短期、金沢星稜大学女子短期
専門学校	34	富山県高岡看護、富山県歯科総合学院、富山外国語、富山県技術、富山情報ビジネス、富山県理容美容、富山大原学園、北陸ビジネス福祉、北陸職業開発能力大学校、高岡第一学園幼稚園教諭・保育士養成所、石川県七尾産業技術、国際医療福祉専門学校七尾校、国際ペット、東京スクールオブミュージック&ダンス、駿台外语&ビジネス、東京ダンス&アクターズ、日本美容、日本外国語、中日美容、トライデント外国語、トヨタ名古屋自動車大学校、あいちビジネス、富山病院附属、七尾看護、富山ビューティーカレッジ
その他	2	ロシア極東連邦総合大学函館校、雄峰高校専攻科
就職	25	アイシン軽金属株式会社、三協立山株式会社、立山電機工業株式会社、JFE マテリアル株式会社、日本高周波銅業株式会社富山製造所、日産化学工業株式会社富山工場、株式会社うみあかり、株式会社オプテス北陸工場、高岡市農業協同組合、株式会社プレスステージ・インターナショナル富山 BPO タウン、はやみ眼科医院、有限会社スカイしゃらく、クラシエ製薬株式会社、宇奈月ホテル株式会社 宇奈月杉乃井ホテル、N.JET エンジニアリング株式会社、富山地鉄サービス、自衛隊 (官)、高岡消防本部

部活動報告

Fushiki High School

◇◇◇ 平成30年度 部活動の記録 ◇◇◇

(平成 30 年 3 月～11 月)

<体操部>

- 富山県高等学校春季大会体操競技
女子個人総合 第 3 位 寺林 歩夢 (1 年)
- 富山県高等学校総合体育大会 体操競技選手権大会
女子個人総合 第 3 位 寺林 歩夢 (1 年)
- 富山県高等学校新人大会体操競技
女子個人総合 第 3 位 寺林 歩夢 (1 年)

<ソフトテニス部>

- 第 13 回射水市ソフトテニス大会一般男子 第 2 位 松井 翔太 (1 年)
- 平成 30 年度富山県高等学校新人大会ソフトテニスインドア選手権大会
高岡地区予選大会
女子団体 第 2 位 伏木高等学校ソフトテニス部

<国際関連>

- 第 12 回富山県ロシア語スピーチコンテスト
スピーチ部門 第 2 位 水野 瑠奈 (3 年)
- 第 12 回富山県ロシア語スピーチコンテスト
朗読部門 第 3 位 吉村タツヒロ (2 年)
- ロシア語現代小説コンテスト 第 2 位 水野 瑠奈 (3 年)
- 第 20 回富山県高等学校英語プレゼンテーションコンテスト
レシテーション部門 奨励賞 澤湯 綾乃 (1 年)

<書道部>

- 第 19 回高校生国際美術展 書道部門 佳作 吉野 瑞稀 (3 年)

第 43 回富山県青少年美術展

- 書道部門 入選 吉野 瑞稀 (3 年)
入選 土合 凜 (2 年)
入選 寺 李織 (1 年)
入選 海下絵玲奈 (1 年)

第 17 回岐阜女子大学全国書道展

- 大学賞 稲垣 洸太 (1 年)
特賞 吉野 瑞稀 (3 年)
特賞 小竹 那奈 (1 年)
特賞 海下絵玲奈 (1 年)
奨励賞 土合 凜 (2 年)
奨励賞 源 理恵 (1 年)
奨励賞 中村 愛 (1 年)

<琴部>

- 第 28 回富山県高等学校日本音楽演奏会
日本音楽部門 優秀賞 伏木高等学校 琴部

<その他>

- 第 30 回富山県高等学校文化祭 テーマ標語 優秀賞 嶋崎 節己 (2 年)

◆平成 30 年度英語検定合格者数 (平成 30 年 12 月現在)

級	学年	1 年	2 年	3 年	合計
2 級		0	2	2	4
準 2 級		2	2	0	4
3 級		21	10	5	36

INFORMATION

①平成 28 年版名簿について

平成 28 年版如意ヶ丘同窓会名簿について、希望される方は直接来校されるかサラトにお申し込みください。

②会報購読、会報広告の件

会報の購読を希望される方、および会報への広告掲載にご協力いただける方は、事務局までご一報ください。

③寄稿の件

本会報に掲載する原稿を募集致します。学生時代の記憶に残る体験、経験談、思い出話など皆様のご協力を頂き、より充実した紙面を目指していきたいと思っております。なお、原稿は 1,000 字以内でお願いいたします。下記のメールアドレス、または学校事務局まで送付ください。

④如意ヶ丘グリーン会参加者募集

毎年 4 月第 2 土曜日

富山県立伏木高等学校 事務局
受付窓口
〒933-0116 富山県高岡市伏木一宮 2 丁目 11 番 1 号
TEL 0766-44-1514 FAX 0766-44-1707
E-mail: fushiki-hs@tym.ed.jp ホームページ http://www.tym.ed.jp/sc354/

編集後記

子供の在籍もあり、伏木高校の PTA のお世話をさせて頂き、今年から新体制の中で、同窓会のお世話もさせて頂いております。これまで 25 年以上「母校」とのつながりはありませんでしたが、子供が縁でいろいろな行事に参加させて頂いたことは、何事にも「きっかけ」と「タイミング」が重要であると感じました。

最後に山崎新会長のもと、100 周年に向けて卒業生の「母校」としての橋渡しをできる、如意ヶ丘同窓会参加の「きっかけ」を作っていきたいと思っております。

副会長 城光 茂 (伏高 43 回)